

# 土佐市複合文化施設基本設計委託業務公募型プロポーザルの成果と課題

まちづくり研究室 1160084 鈴木 翔馬

## 1. はじめに

### 1.1 研究背景

#### 1) 設計者選定方式の種類

公共施設における設計者選定方式の主なものは、競争入札方式、設計競技（コンペ）方式、プロポーザル方式、特命方式の4つが挙げられる。また、設計競技は、指名設計競技と公開設計競技に、プロポーザルは、指名型プロポーザルと公募型プロポーザルの2つに分けられる。

#### 2) 競争入札方式が多い

公共施設の新築による設計業務で最も多く採用している設計者選定方式は、競争入札方式であり、市町村では86.6%都道府県・政令市では73.1%である。しかし、競争入札は設計料の安さを競う方式であるため、問題が多く、建築の質を低下させる要因となる恐れがある。また、プロポーザル方式は7.1%、20.9%となっている。

表1 新築の設計業務で最も多く採用している設計者選定方式

	市町村	都道府県・政令市
競争入札(%)	86.6	73.1
プロポーザル(%)	7.1	20.9
コンペ(%)	0.8	0.0
特命(%)	0.6	0.0
総合評価落札(%)	0.2	1.5
その他(%)	4.7	4.5

#### 3) プロポーザル方式の期待と問題点

プロポーザル方式は適切に運営されれば、公正性・透明性・客観性が確保される。また、ヒアリングを行うことで設計者の能力を直接評価でき、高い技術力や経験を持つ設計者を選ぶことが可能である。そして、設計者を選定した後、住民や行政機関と共働の施設づくりが可能であり、住民参加がしやすい。これらが期待として挙げられる。

しかし、地方自治体においては、建築担当者が少ないことや、プロポーザルに関して行政内部での理解が少ないことが問題となっている。

#### 4) 土佐市プロポの試み

過去5年間に高知県で行われた公共施設基本設計委託業務公募型プロポーザル（以下、高知県プロポとする）は、参加資格要件が厳しく、公募と称しながら、実際は幅を狭めていることや、審査委員名を公表しているプロポーザルが少ないなどの問題が多い。そこで、土佐市プロポでは、これらの問題点を考慮し、土佐市複合文化施設基本設計委託業務公募型プロポーザル（以下、土佐市プロポとする）の実施要領が作成された。

### 1.2 研究の目的

本研究は、実施要領を工夫した土佐市プロポと高知県プロポを比較し、土佐市プロポでは、どのような成果が得られたか、そして、どのような課題が残されているか

を整理することを目的としている。

### 1.3 研究の方法と構成

土佐市プロポと高知県プロポとの比較から土佐市プロポの特徴を抽出する。また、土佐市プロポの経過を観察調査することにより、土佐市プロポの成果と課題を整理する。

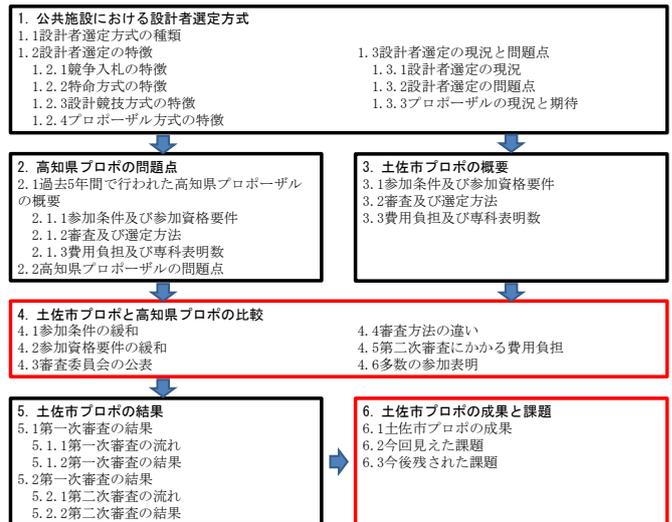


図1 研究の構成フローチャート

## 2. 土佐市プロポと高知県プロポの比較

### 2.1 高知県プロポ8例

高知県プロポは、いの町新本庁舎・新図書館等複合施設・高知県自治会館新庁舎・香美市物部支所庁舎・青少年センター・坂本龍馬記念館・新中高一貫教育校・高吾地域拠点校の8例ある。

### 2.2 参加資格要件の緩和

高知県プロポは、類似施設の設計経験が必要であり、指定された延床面積以上の経験がないと参加できない。

一方、土佐市プロポは、類似施設の設計経験を必要としない。但し、総括責任者の代表建築物の実績を提出する。それを、審査の評価基準10点分として評価する。

表2 参加資格要件の比較

施設名	参加資格要件
	経験類似施設の規模
いの町新本庁舎	延床面積5,000㎡以上の庁舎 その他公共施設等
新図書館等複合施設	延床面積5,000㎡以上の図書館
高知県自治会館新庁舎	延床面積2,000㎡以上の公共施設
香美市物部支所庁舎	庁舎及び類似する公共施設、又は物部支所庁舎の設計に活かされると考えられる民間事務所
青少年センター	延床面積1,000㎡以上で鉄筋コンクリート造の建物
坂本龍馬記念館	延床面積1,500㎡以上の博物館
新中高一貫教育校	延床面積6,000㎡以上の校舎
高吾地域拠点校	延床面積6,000㎡以上の校舎
土佐市複合文化施設	特になし

## 2.3 参加条件の緩和

高知県プロポは、県外企業と県内企業とのJVとするものが4例(50.0%)、県内単体企業とするものが2例(25.0%)、そのどちらでも良いとするものが1例(12.5%)となっている。

土佐市プロポは、単体企業又は、県外企業と県内企業とのJVのどちらでも良いこととし、参加条件を緩和している。

## 2.4 審査委員会の公表

高知県プロポは、審査委員名を公表しているものが2例(25.0%)しかなく、人数すらも公表していないプロポーザルが3例(37.5%)ある。また、建築専門家が過半数を占めるプロポーザルは1例もない。

一方、土佐市プロポは公表している。しかし、建築専門家は過半数を占めていない。

## 2.5 提案内容重視

### 1) 第一次審査

高知県プロポは、審査で提案内容を重視するプロポーザル、業務実績を重視するプロポーザルともに3例(37.5%)ある。土佐市プロポは、提案内容を重点的に評価する審査としている。

### 2) 第二次審査

高知県プロポは、プレゼン・ヒアリングとしているが、非公開としている。

一方、土佐市プロポは、プレゼン・ヒアリングを、公開としている。しかし、その後行われる審査委員会は、非公開となっている。

## 2.6 第二次審査にかかる費用負担

高知県プロポはどれも、費用負担をしていない。一方、土佐市プロポは、第二次審査にかかる費用として、1者30万円の費用負担をしている。

## 2.7 多数の参加表明

高知県プロポーザルの参加表明数は、2者が2例、4者が3例、5者と7者がどちらも1例である。

土佐市プロポーザルは15者となった。

表3 参加表明数の比較

施設名	参加数	備考
いの町新本庁舎	4者	
新図書館等複合施設	7者	
高知県自治会館新庁舎	5者	
香美市物部支所庁舎	表記なし	
青少年センター	4者	
坂本龍馬記念館	4者	うち2者が要件を満たしていない
新中高一貫教育校	2者	
高吾地域拠点校	2者	
土佐市複合文化施設	15者	

## 3. 土佐市プロポの成果と課題

### 3.1 土佐市プロポの成果

#### 1) 多数の参加表明

土佐市プロポは、参加資格要件や参加条件を緩和し、15者と高知県プロポと比較すると、多い参加表明があっ

た。

#### 2) レベルの高い提案

土佐市プロポは、参加者に、大手設計事務所等が名を連ねていた。また、審査委員各々が1位に選んだ提案はバラバラで、どれもレベルの高い内容であったことが伺える。

#### 3) 若手建築士が選出

総括責任者の年齢は、30代~70代まで幅広い世代の参加があった。そして、36歳の建築士が最優秀者となり、若手建築士の発掘育成という面で、若手建築士が活躍できる良い結果が得られた。

## 3.2 土佐市プロポの課題

### 1) 今回の課題

#### ①参加資格要件の緩和

参加資格要件を緩和するのであれば、「一級建築士を2名以上有している」という所も緩和するべきであった。

#### ②審査の非公開

審査は非公開であったため、公開するべきである。どのようにして設計者が選定されたのか分からないため、公正性、透明性が薄い。

#### ③審査講評の非開示

審査講評が開示されていなかったため、開示するべきである。審査を非公開にするのであれば、審査委員の考え方である審査講評は開示すべきである。

### 2) 今後の課題

#### ①共働の施設づくりの推進

プロポーザルは、設計者選定が終わった後の、市民・行政・設計チームとの共働の施設づくりこそが重要である。そこで、基本設計の段階では、住民参加型のワークショップ等を行い、3者が意見を交換する時間を多く持つことで基本設計案を変えていくことが大切である。

#### ②見守る組織としての第三者機関の設置

三者の対立が生じることが予想される。故に、第三者の存在が必要となってくる。そこで、設計者を選定した責任のある審査委員会を、今後を見守る組織として機能する第三者機関として設置することが望ましい。

### 《引用・参考文献一覧》

- いの町, 2015/5/17, いの町新本庁舎建設基本設計業務委託プロポーザル, [http://www.town.ino.kochi.jp/pdf/proposal\\_cyosya1\\_h23\\_7.pdf](http://www.town.ino.kochi.jp/pdf/proposal_cyosya1_h23_7.pdf), 2015/9/3 取得
- 香美市, 香美市物部支所庁舎建設設計委託業務公募型プロポーザル, [http://www.city.kami.kochi.jp/uploaded/life/4779\\_17905\\_misc.pdf](http://www.city.kami.kochi.jp/uploaded/life/4779_17905_misc.pdf), 2015/9/3 取得
- 高知県, 2011/7/22, 新図書館等複合施設基本設計委託業務公募型プロポーザル, <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/312201/fukugushisetsu-proposal.html>, 2015/9/3 取得
- 高知県, 2013/11/25, 青少年センター基本設計委託業務公募型プロポーザル, [http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310401/files/2013112500373/2013112500373\\_www\\_pref\\_kochi\\_lg\\_jp\\_uploaded\\_attachment\\_106128.pdf](http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310401/files/2013112500373/2013112500373_www_pref_kochi_lg_jp_uploaded_attachment_106128.pdf), 2015/10/6 取得
- 高知県, 2015/4/1, 新中高一貫教育校基本設計委託業務公募型プロポーザル, <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311701/files/2015030400315/bosyuuouyou.pdf>, 2015/10/6 取得
- 高知県, 2015/5/7, 高吾地域拠点校基本設計委託業務公募型プロポーザル, <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311701/2015041800012.html>, 2015/9/3 取得
- 高知県, 坂本龍馬記念館基本設計委託業務公募型プロポーザル, [http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/140201/files/2014100200169/rkk01\\_bosyu.pdf](http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/140201/files/2014100200169/rkk01_bosyu.pdf), 2015/9/3 取得
- 高知県市町村総合事務組合, 2013/4/8, 高知県自治会館新庁舎建築工事基本設計業務プロポーザル, <http://www.c-kochi.jp/sogojikumiai/chousha.html>, 2015/9/3 取得
- 土佐市, 2015/8/12, 土佐市複合文化施設基本設計委託業務公募型プロポーザル, <http://www.city.tosa.lg.jp/life/detail.php?hdnKey=2550>, 2015/9/1
- 日本経済新聞, 2015/6/13, 公共建築の設計者選定、プロポーザルが増加, <http://www.nikkei.com/article/DGXZ0801030055A610C1000000/>, 2015/10/10 取得